

令和5年8月通常会議
教育厚生常任委員会
報告事項

地方独立行政法人市立大津市民病院
中期計画の進捗状況について

健康保険部保健所地域医療政策課
令和5年9月19日

目次

- I 令和4年度財務諸表等の報告について
03スライド
- II 令和4年度業務実績評価結果について
29スライド

(単位の記載のない金額の単位は百万円で表記)

I 令和4年度財務諸表等の報告について

(地方自治法第243条の3の規定に基づく報告)

※詳細はタブレット配信している「地方独立行政法人市立大津市民病院
令和4年度経営状況説明書」を御確認ください。

目 次

- 1 決算報告の流れ スライド` 05
- 2 決算の概要 スライド` 07
- 3 新型コロナウイルス感染症による
経営への影響等の確認 スライド` 17

(単位の記載のない金額の単位は百万円で表記)

1 決算報告の流れ

地方独立行政法人市立大津市民病院の経営状況について
(財務諸表等の承認、議会への報告)

財務諸表等の提出 (6月末まで、法人→市) (地独法第34条第1項)



財務諸表等の承認 (市→法人) (地独法第34条第1項)



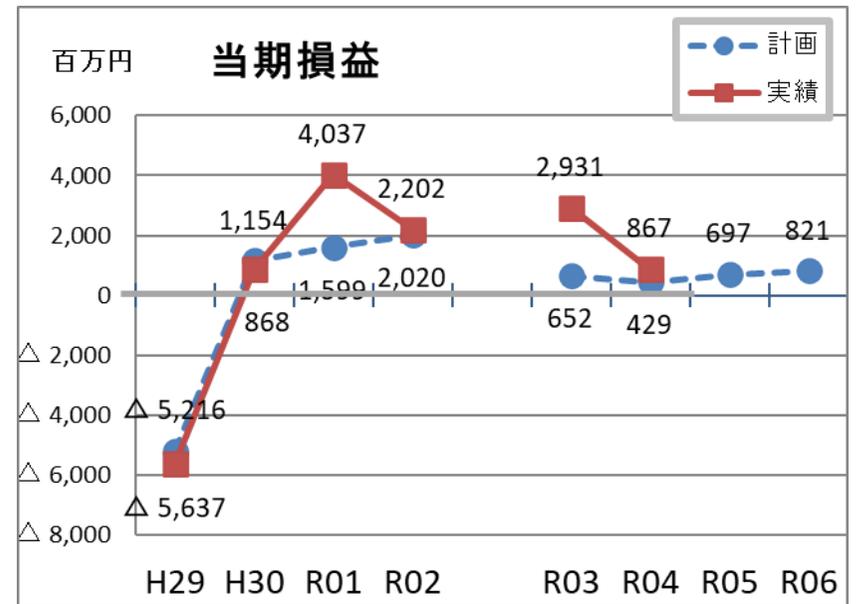
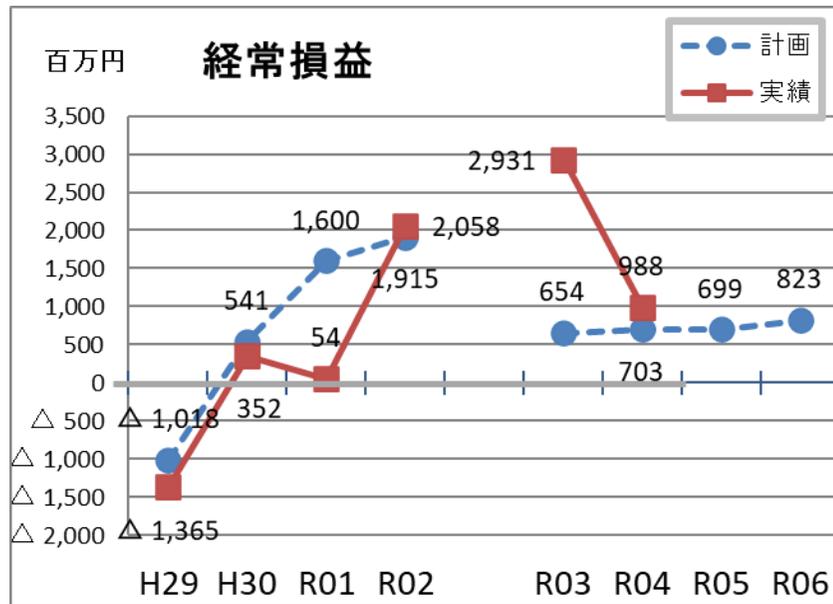
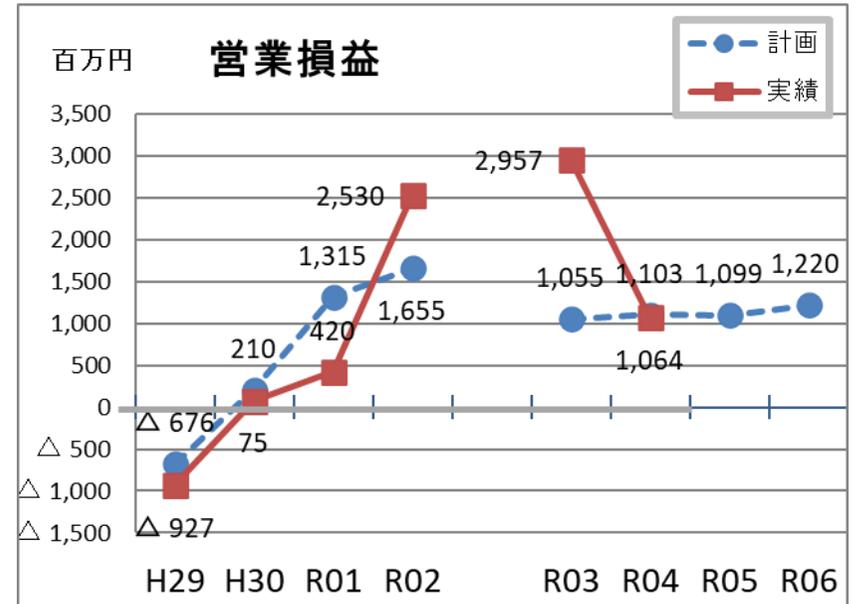
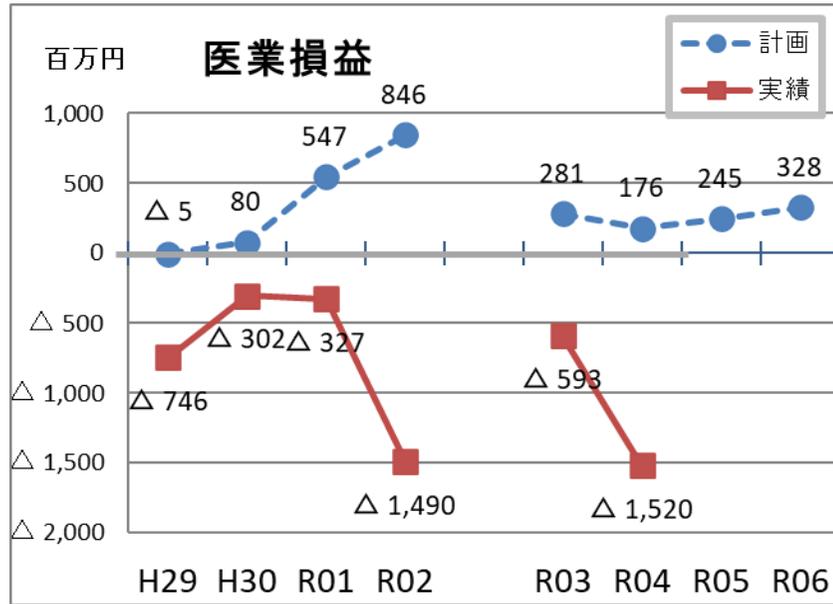
議会へ報告 (地自法第243条の3)

2 決算の概要

(1) 財務3表 (①損益計算書)

新型コロナウイルス感染症への対応で当期損益は計画額を上回る

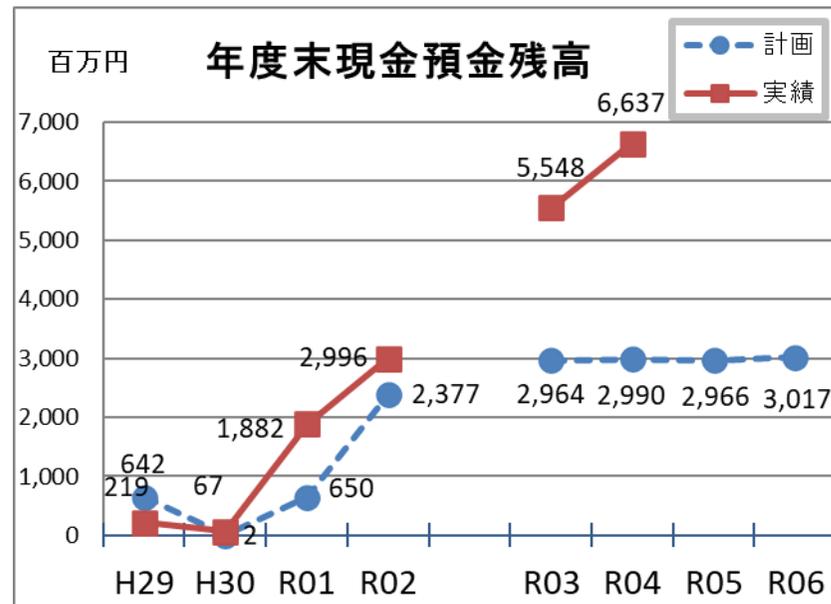
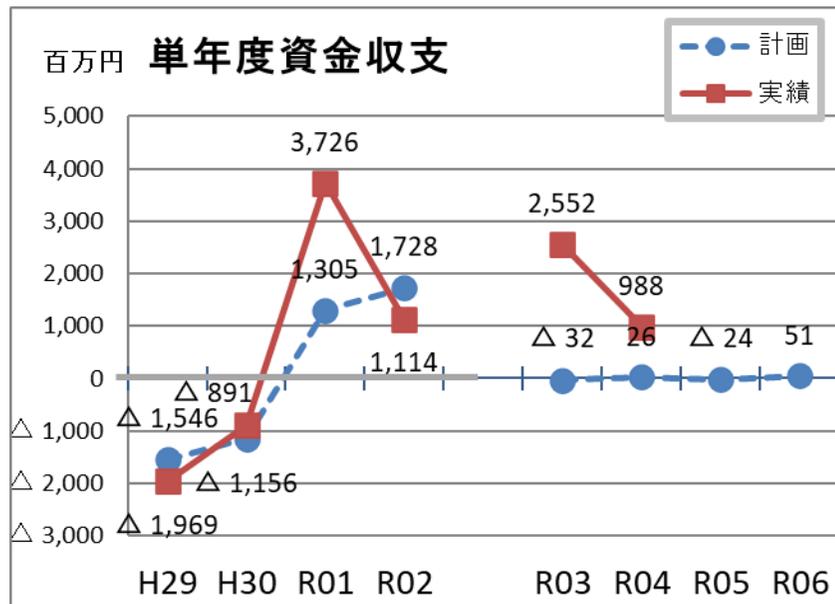
No.	項目	計画額 A	決算額 B	計画比 B-A	備考
1	医業損益	176	△1,520	△1,344	医業収益△1,469 (計画11,219⇒実績9,750) 給与費(△)+492 (計画6,299⇒実績6,791) 経費(△)+85 (計画1,348⇒実績1,433)
2	営業損益	1,103	1,064	△39	新型コロナウイルス感染症にかかる国県等補助金(1,859)
3	経常損益	703	988	+285	
4	当期損益	429	867	+438	



(2) 財務3表 (②キャッシュフロー計算書)

新型コロナウイルス感染症対応等で、診療収入は減少、人件費等の支出が増加したが、補助金により資金繰り改善

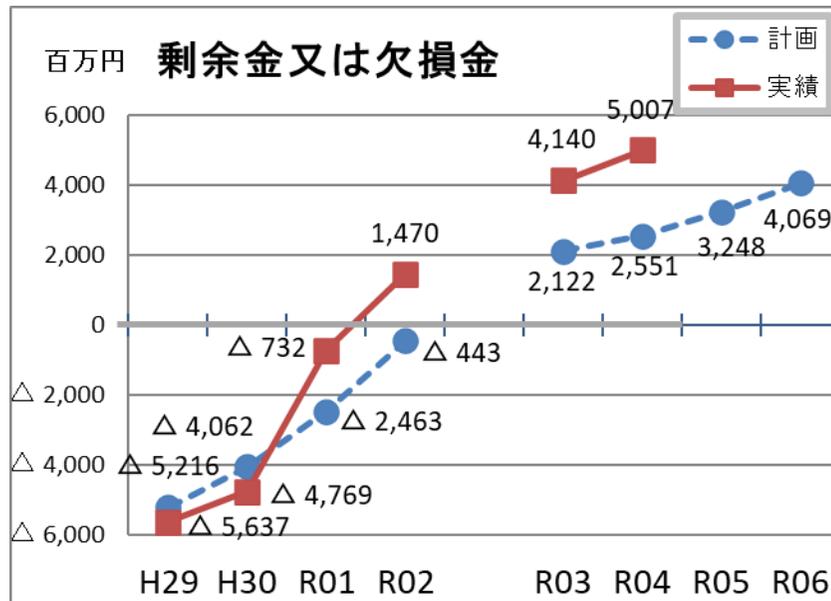
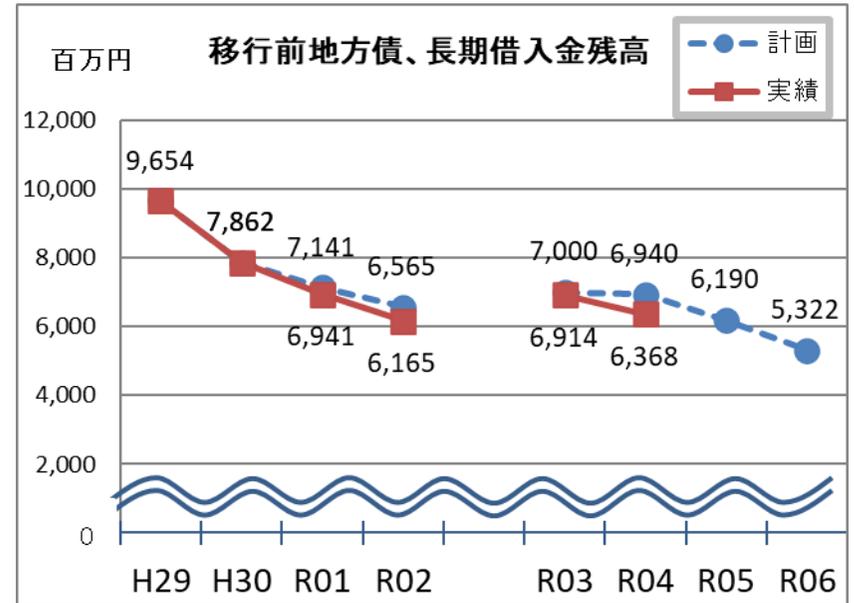
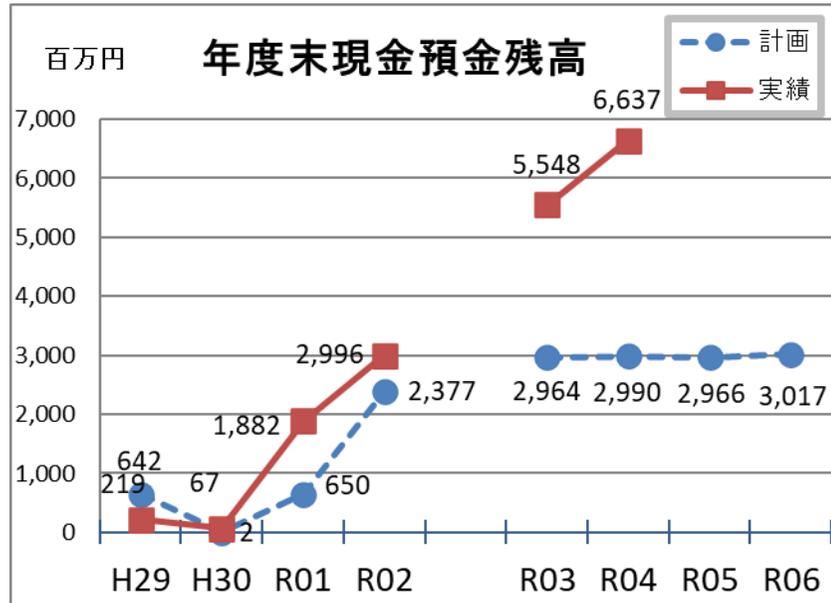
No.	項目	計画額 A	決算額 B	計画比 B-A	備考
1	業務活動CF	+1,088	+3,288	+2,200	診療収入△1,067 (計画10,939⇒実績9,872) その他収入+3,373 (計画215⇒実績3,588) 給与費支出(△)+314 (計画6,664⇒実績6,978) その他支出(△)+104 (計画2,662⇒実績2,766)
2	投資活動CF	△899	△1,549	△650	※設備投資現年分のほとんどが未払金
3	財務活動CF	△163	△650	△487	長期借入+481 元金償還△1,027 (移行前地方債償還△763、長期借入金償△264)
4	資金増減額	+26	+1,089	+1,063	
5	資金期首残高	2,760	5,548	+2,788	
6	資金期末残高	2,786	6,637	+3,851	



(3) 財務3表 (③貸借対照表)

設備投資、純利益により総資産増加

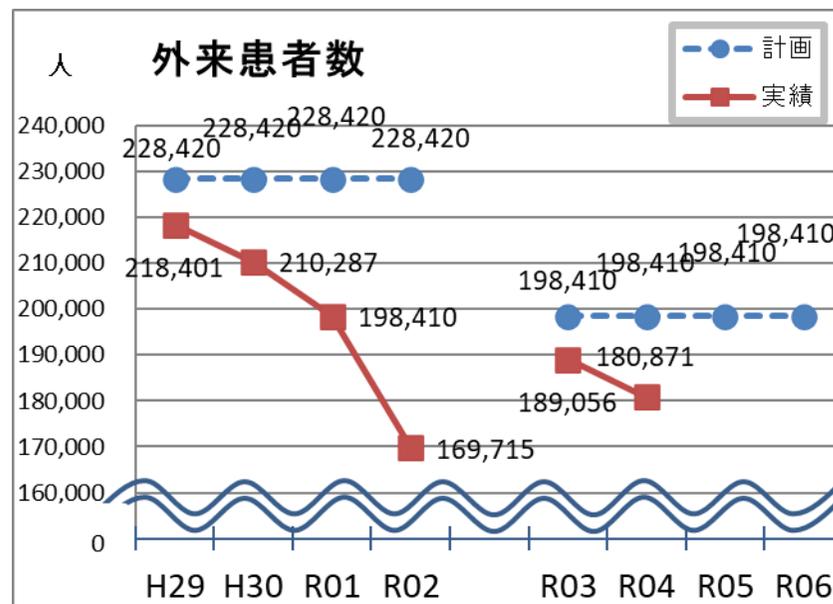
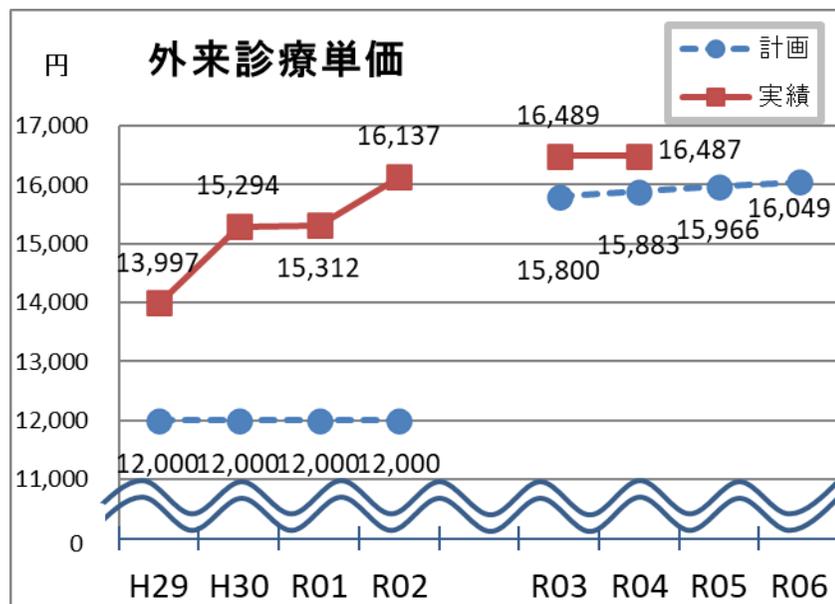
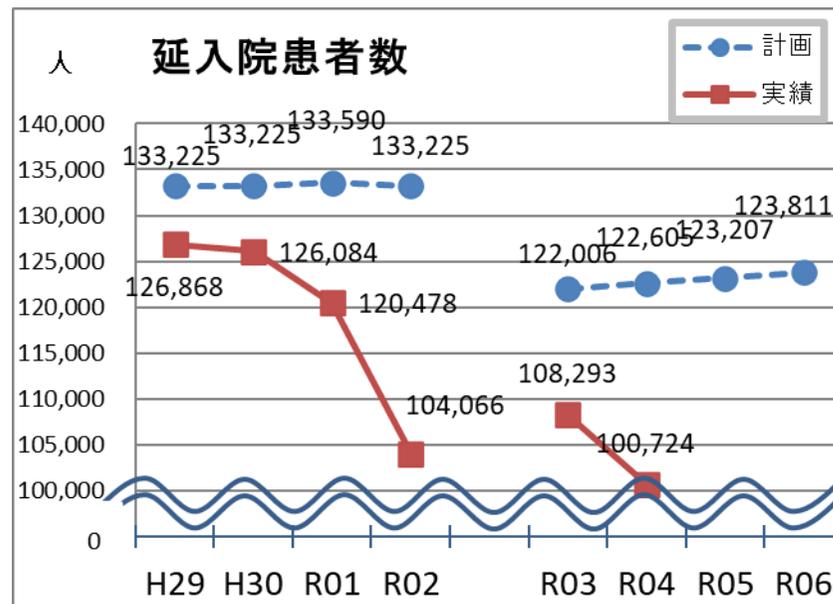
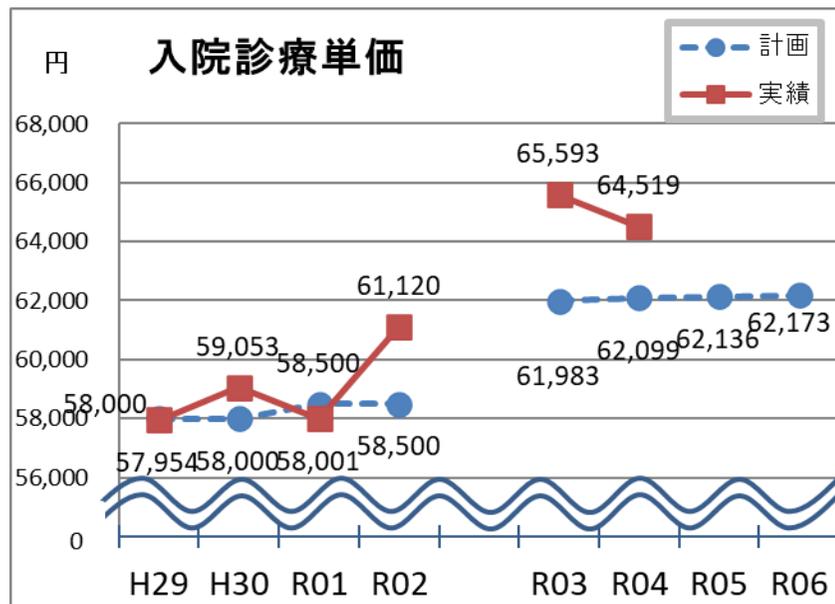
No.	項目	期首 A	期末 B	増減 B-A	備考
1	固定資産	10,575	10,275	△300	償却資産+505 償却累計(△)+728 無形△104
2	流動資産	9,811	9,389	△422	現金預金+1,089 (5,548⇒6,637) 未収金 △1,499 (4,193⇒2,694)
3	総資産	20,386	19,664	△722	
4	固定負債	12,192	11,447	△745	資産見返負債+△13 (補助金等での整備) 有利子負債△648 (借入+481、流動へ△1,129) 退職給付引当金+9
5	流動負債	3,791	2,947	△844	未払金△864 (2,171⇒1,307) 有利子負債+102 (1,027⇒1,129)
6	負債計	15,983	14,395	△1,588	
7	純資産計	4,403	5,269	+867	当期純利益+867
8	負債・純資産	20,386	19,664	△722	



(4) 業務実績

新型コロナウイルス感染症の影響等で患者数は計画未達だが1日単価は大きく改善

No.	項目	【参考】 R01実績	計画値 A	実績値 B	計画比 B-A
1	延べ入院患者数	120,478人	122,605人	100,724人	△21,881人
	1日平均	329人	336人	276人	△60人
2	入院1日単価	57,487円	62,099円	64,519円	+2,420円
3	平均在院日数	13.1日	13.2日	14.7日	(△)+1.5日
4	病床稼働率 (最大使用病床数393床)	85.0%	87.0%	70.2%	△16.8p
5	外来患者数	198,409人	198,410人	180,871人	△17,539人
	1日平均	827人	820人	747人	△73人
6	外来1日単価	15,379円	15,883円	16,488円	+604円



調整スライド

3 新型コロナウイルス感染症による 経営への影響等の確認

(1) 影響等を確認した結果（概要）

- ア 救急医療については、市消防局からの救急搬送実績は対前年比で増加（+12.5%）。コロナ感染拡大の影響で、7、8月、12、1月は救急搬送件数大幅に増加。
- イ 小児救急について、市民病院の受入実績はコロナ前の令和元年度と同程度まで増加。
- ウ コロナ対応で医療スタッフを集約したことに伴い休床した病床を考慮すると、一般病床の実質稼働率は82.3%。
- エ コロナ対応に伴う補助金のうち、休床相当分を医業収益としてみなして主要な財務に関する指標を見た場合、指標は改善。

(2) 医療サービスに関する定量的指標への影響の確認

ア 救急搬送受入件数、救急搬送比率

大津市消防局の救急搬送実績を確認し、市民病院への救急搬送実績と年度計画目標値を比較検証する。

年度	市消防局 搬送実績 (A)	市民病院 受入実績 (B)	受入件数 目標値 (C)	搬送比率 実績※ (B/A)
R01	16,077件	3,481件	4,090件	21.4%
R02	14,017件	2,801件	4,100件	20.0%
R03	15,270件	3,589件	3,481件	23.5%
R04	<u>18,044件</u>	<u>4,039件</u>	3,498件	<u>22.4%</u>

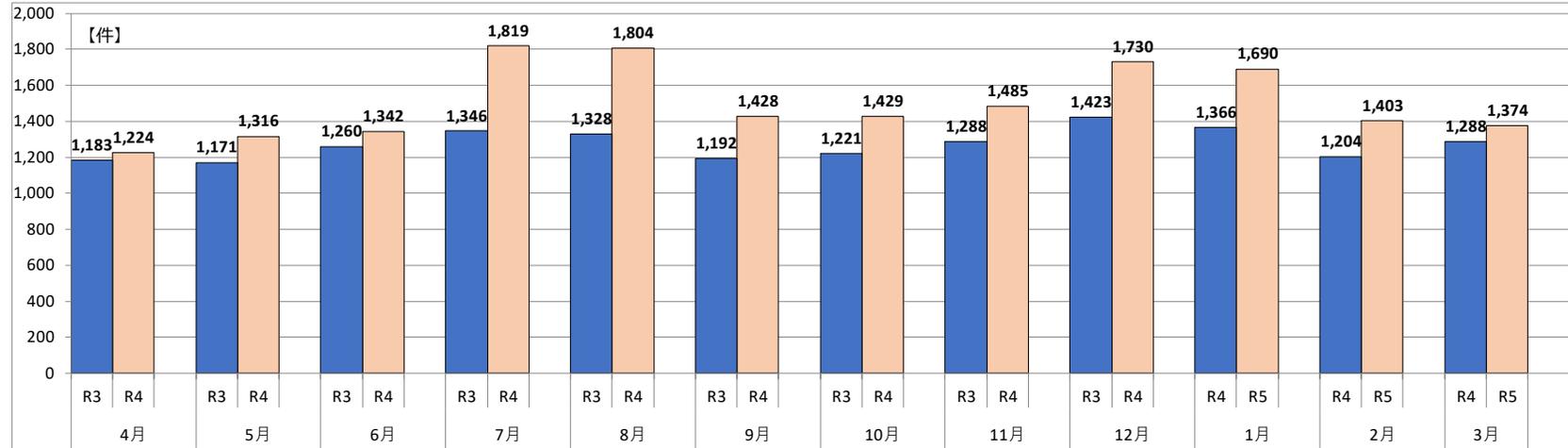
※搬送比率は市内のみ

市内全体の救急搬送実績は対前年比で増加 (+18.2%)。
市民病院の受入件数も対前年度比で増加 (+12.5%)。

イ 大津市消防局からの救急搬送実績の推移

大津市消防局搬送件数 (A)

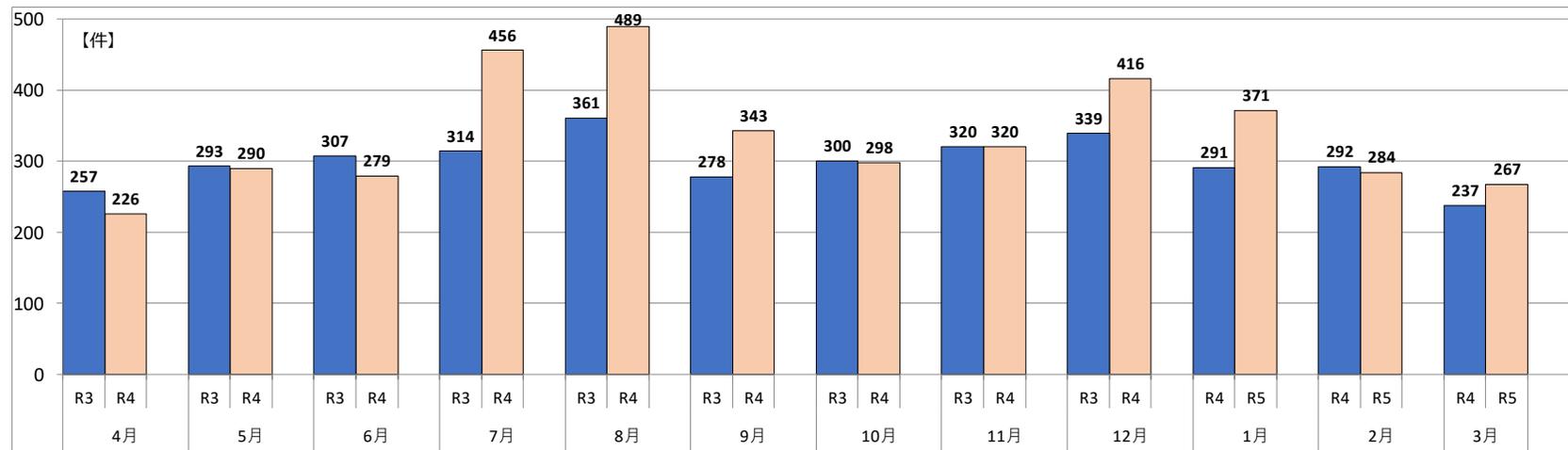
4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
R3	R4	R4	R5	R4	R5	R4	R5																
1,183	1,224	1,171	1,316	1,260	1,342	1,346	1,819	1,328	1,804	1,192	1,428	1,221	1,429	1,288	1,485	1,423	1,730	1,366	1,690	1,204	1,403	1,288	1,374



市立大津市民病院 (B)

4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
R3	R4	R4	R5	R4	R5	R4	R5																
257	226	293	290	307	279	314	456	361	489	278	343	300	298	320	320	339	416	291	371	292	284	237	267

B/A 21.7% 18.5% 25.0% 22.0% 24.4% 20.8% 23.3% 25.1% 27.2% 27.1% 23.3% 24.0% 24.6% 20.9% 24.8% 21.5% 23.8% 24.0% 21.3% 22.0% 24.3% 20.2% 18.4% 19.4%



ウ 小児科救急受入件数

本市が大津日赤で実施している小児救急医療支援事業補助金の実績を確認し、市民病院の小児科救急受入件数及び年度計画目標値と比較検証する。

年度	大津日赤 受入実績 (A)	市民病院 受入実績 (B)	受入件数 目標値 (C)	日赤と市民 の対比 (B/A)	備考
R01	10,540件	1,919件	2,375件	18.2%	
R02	3,491件	733件	2,400件	21.0%	
R03	5,094件	1,237件	2,161件	24.3%	
R04	<u>6,947件</u>	<u>1,977件</u>	2,162件	<u>28.5%</u>	

対前年度比では大津日赤より増加率が高く、市民病院の受入実績は新型コロナウイルス感染症拡大前のR01と同程度まで増加。

(3) 病床の稼働状況

ア 一般病床の状況

No.	区 分	数値
1	許可病床（401床）が通常稼働したときの延べ病床数	146,365床
2	稼働可能病床（393床）が通常稼働したときの延べ病床数	143,445床
3	コロナ対応病床として確保した延べ病床数	7,985床
4	コロナ対応するために休床した延べ病床数	18,980床
5	<u>コロナ禍で一般病床として稼働可能な延べ病床数</u> （No.2-No.3-No.4）	<u>116,480床</u>

イ 延べ入院患者数

No.	区 分	数値
6	延べ入院患者数	100,724人
7	延べ患者数のうち、新型コロナウイルス感染症以外の入院延べ患者数	95,806人

ウ 病床稼働率（実質）

No.	区 分	数値
8	令和4年度計画での目標値	87.0%
9	病床稼働率（No.6/No.2）【報告値】	70.2%
10	一般病床として稼働可能な延べ病床での稼働率（No.7/No.5） <u>【参考値】</u>	<u>82.3%</u>

(4) 令和4年度新型コロナウイルス感染症関連補助金

ア 新型コロナ関連補助金の内訳

No.	区 分	現年度収益 計上	資産見返り 計上※1	合計
1	国補助金	1,859	151	2,010

※1：設備投資に充当した補助金の収益計上は減価償却に合わせて戻入益として計上。

現年度収益1,859は、すべて営業収益。

イ 国県等補助金（現年収益分）の主な内訳

No.	区 分	金額
1	<u>入院病床確保支援事業費補助金</u> (稼働病床分438、休床対応分1,316)	<u>1,754</u>
2	医療従事者勤務環境改善事業費補助金(給与費分50)	50
3	重点医療機関等設備整備事業補助金 (経費分47、資産見返り分112)	159
4	PCR検査機器等設備整備事業費補助金 (経費分-、資産見返り分38)	38
5	感染症指定医療機関等病床利用促進事業費補助金 (経費分7)	7
6	疑い患者受入れのための救急・周産期・小児医療体制確保事業(経費分1、資産見返り分1)	2
	合 計	2,010

(5) 財務内容の改善への影響の確認

ア 重点医療機関としての貢献度

(ア) 入院病床確保支援事業費補助金

市民病院は新型コロナウイルス感染症への対応に関して重点医療機関として県内の重症患者を受入れ。

医療スタッフの集約化に伴い、一部休床。

⇒ 休床に対する補助金に実質病床稼働率を乗じた金額を「入院収益」とみなした場合、医業収益にどのようなインパクトを与えるか確認（このとき、新型コロナウイルス感染症にかかる入院収益は控除）。

R04年度 医業収益 計画額	医業収益 実績額 (A)	補助金 (休床相当) (B)	実質稼働率 (C)	コロナ対応 診療報酬 (D)	貢献度を 考慮 (A+B*C-D)
11,219	9,750	<u>1,316</u>	<u>0.823</u>	596	<u>10,237</u>

(イ) 給与費に充当する補助金

新型コロナウイルス感染症関連補助金のうち、給与費に充当する次の補助金を給与費から控除した場合、給与費にどのようなインパクトを与えるか確認。

給与費に充当した補助金

① 医療従事者勤務環境改善事業費補助金	: 50
② 入院病床確保支援事業費補助金	: 47
	<u>合計 : 97</u>

R04年度 給与費 計画額	給与費 実績額 (A)	補助金 (B)	貢献度を 考慮 (A-B)	備考
6,524	7,045	<u>97</u>	<u>6,948</u>	

イ 補助金による財務へのインパクト

アの「貢献度を考慮」したときの財務に関する各指標へのインパクトは次のとおり。

No.	指標名	計画値 (A)	実績値 (B)	貢献度を 考慮 (C)
1	医業収支比率	101.6%	86.5%	<u>91.6%</u>
2	職員給与費対医業収益	58.2%	72.3%	<u>67.8%</u>
3	材料費比率	21.8%	22.2%	<u>21.2%</u>
4	委託費比率	11.3%	12.7%	<u>12.1%</u>

Ⅱ 令和4年度業務実績評価結果について

(地方独立行政法人法第28条第5項の規定に基づく報告)

※詳細はタブレット配信している「地方独立行政法人市立大津市民病院
令和4年度業務実績評価結果報告書」を御確認ください。

目次

- 1 年度評価の流れ スライド 33
- 2 大項目評価 スライド 37
- 3 小項目評価 スライド 41

1 年度評価の流れ

(1) 中期計画の進捗管理と評価委員会

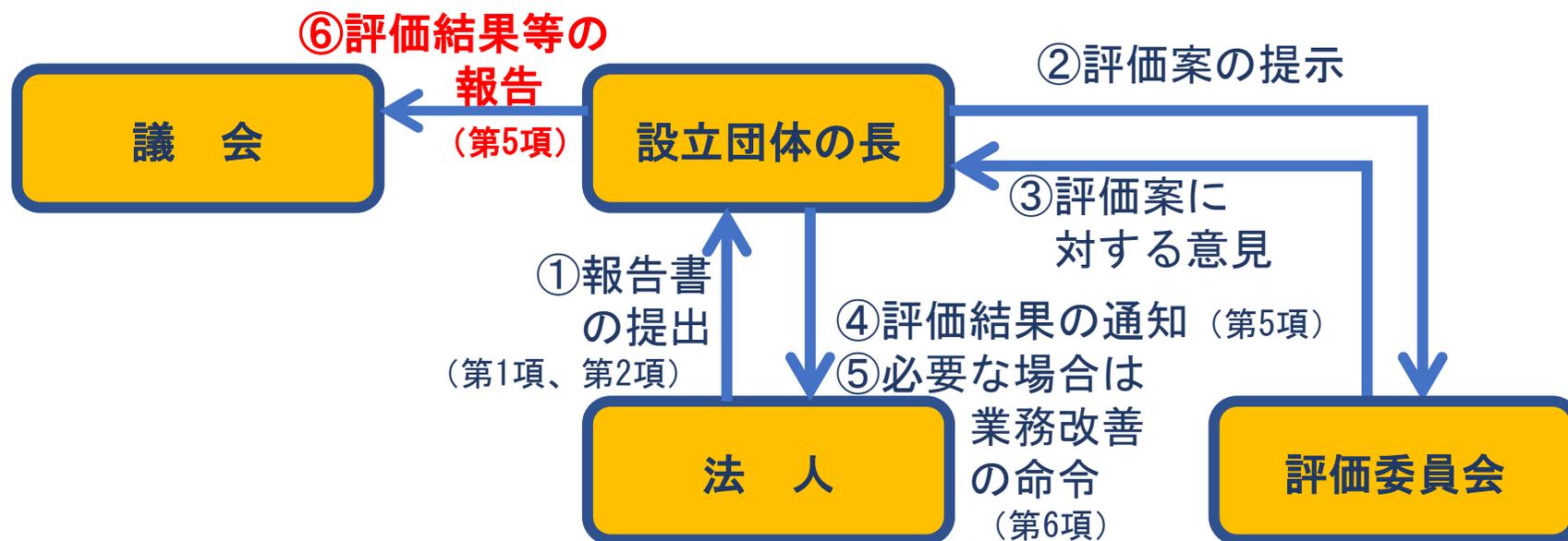
評価委員会が関わる評価等で発生する事象（時系列）と PDCA（PDS）サイクルの過程の関係

No.	PDS サイクル	発生する事象	根拠
1	P	中期目標の設定（変更含む）	地独法
2	P	中期計画の認可（変更含む）	条例
3	D+S	事業年度における第1から3四半期終了後、 事業年度終了時に見込まれる業績確認	条例
4	D+S	毎事業年度終了後の業績評価	条例
5	D+S	中期目標期間終了時に見込まれる 業績評価	地独法
6	S	中期目標期間終了時における業績評価	条例
7	S	中期目標期間終了後の検討	地独法

(2) 業務実績に関する評価結果の報告（地独法第28条）

毎事業年度終了後の業績評価

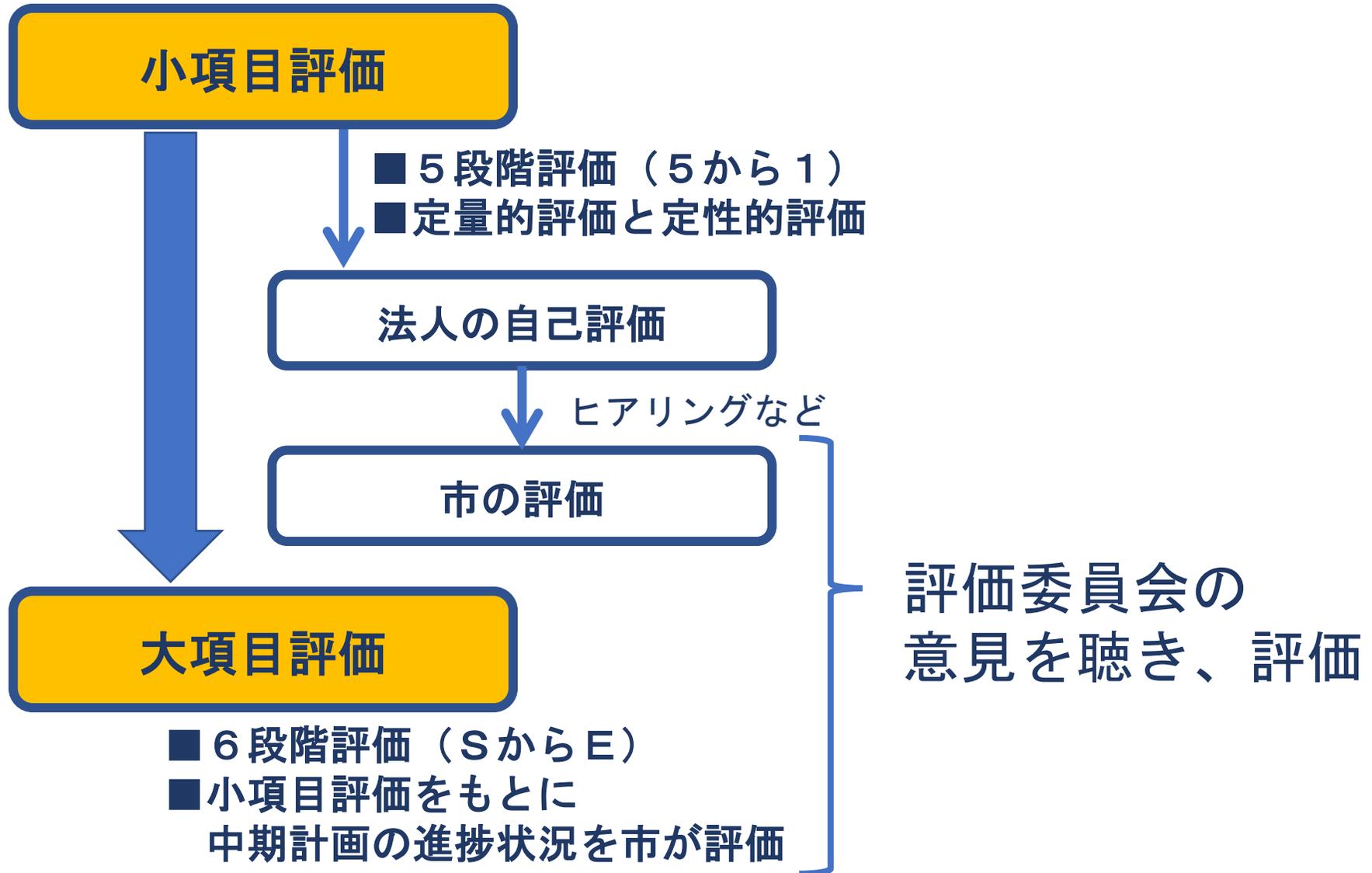
【PDCA（PDS）サイクルの過程：D+S】



評価委員会は、市長の諮問に応じ、意見を述べるものとする

（根拠：地方独立行政法人市立大津市民病院評価委員会条例第2条第2号）

(3) 業務実績評価の流れ



2 大項目評価

(1) 全体評価 (①評価結果及び判断理由)

■ 中期目標、中期計画の達成に向けて「やや遅れている」と評価。

主な原因は、新型コロナウイルス感染症への対応に加え、令和3年度末に起こった複数の医師が退職の意向を示した事案による患者の流出に加え、事実誤認による風評により、これを考慮していない年度計画値の多くで下回ったため。一方で、新型コロナウイルス感染症に対応する重点医療機関として最重症患者を受け入れるなど、公立病院としての責務を十分に果たした点は、小項目ごとの評価で考慮。

■ 感染症指定医療機関として、感染拡大期には月間2,000人超の感染症罹患患者及び疑似症患者を24時間体制で治療に当たるなど、職員一丸となってその使命を果たした。

■ 診療制限を最低限に抑え、診療報酬加算を算定できるような体制を整備するなど経営努力したが、新型コロナウイルス感染症への対応で、一般病床を一部休床して運営したため、計画値の達成は困難であったと推察。

■ 財務状況は医業収支はマイナス1,520百万円であったが、国県からの補助金により、経常収支プラス988百万円となった。

■ 新理事長及び院長のリーダーシップの下、診療提供体制と信頼関係の構築に努めるとともに、経営の効率化と適正化に向け、マネジメントの強化を期待する。 36

(1) 全体評価 (②大項目の評価結果)

No.	大項目		大項目評価
1	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上	C	やや遅れている
2	第3 業務運営の改善及び効率化	B	おおむね計画どおり進んでいる
3	第4 財務内容の改善	C	やや遅れている

【参考】

大項目評価基準	S	A	B	C	D	E
	特筆すべき進捗状況にある。	計画どおり進んでいる。	おおむね計画どおり進んでいる。	やや遅れている。	遅れている。	重大な改善すべき事項がある。
(全ての小項目の評価が3から5まで、かつ、評価委員会が特に認める場合)	(全ての小項目の評価が3から5まで)	(項目の評価において、3から5までが8割以上)	(小項目の評価において3から5までが5割以上8割未満)	(小項目の評価において3から5までが5割未満)	(評価委員会が特に認める場合)	

調整スライド

3 小項目評価

(1) 項目別評価 (①第2 市民サービス、業務の質)

ア 評価結果 → C やや遅れている。

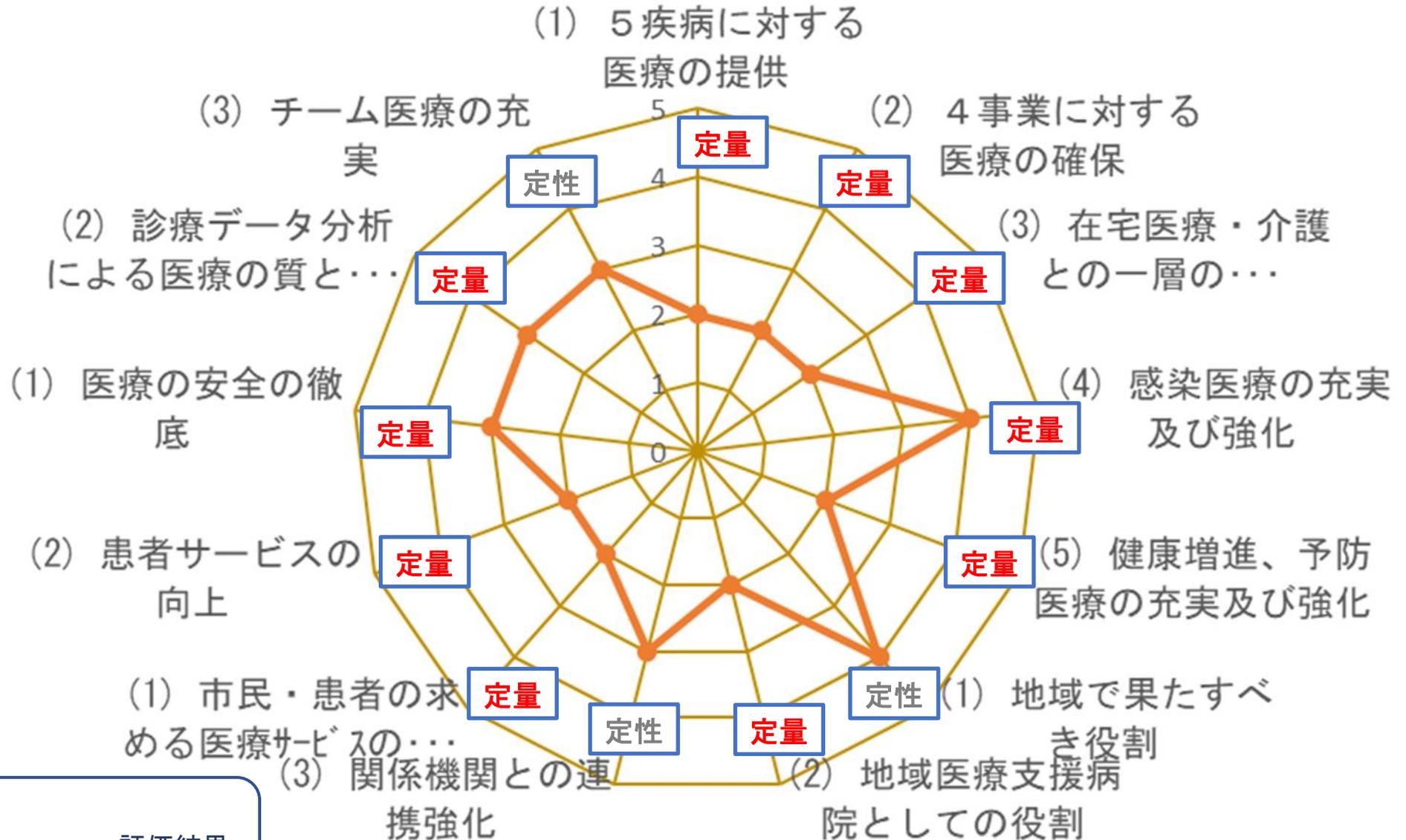
評価結果	S 特筆すべき進捗状況にある。	A 計画どおり進んでいる。	B おおむね計画どおり進んでいる。	C やや遅れている。	D 遅れている。	E 重大な改善すべき事項がある。

イ 判断理由 (主なもの)

- ▲ 5疾病4事業の項目の指標達成度は芳しくない点
- 在宅医療にかかる特定看護師を育成、充実させた点
- 感染症指定医療機関として中心的な役割を果たした点

No.	項目	ウェイト	小項目評価数					
			評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	
1	1 市民病院としての役割	(1) 5疾病に対する医療の提供	×2				4	
2		(2) 4事業に対する医療の確保	×2				4	
3		(3) 在宅医療・介護との一層の連携強化	×1				2	
4		(4) 感染症医療の充実及び強化	×1		4			
5		(5) 健康増進、予防医療の充実及び強化	×1				2	
6	2 地域の病院、診療所等との機能分化及び連携強化	(1) 地域で果たすべき役割	×1		4			
7		(2) 地域医療支援病院としての役割	×1				2	
8		(3) 関係機関との連携強化	×1				3	
9	3 市民・患者への医療サービス	(1) 市民・患者の求める医療サービスの提供	×1				2	
10		(2) 患者サービスの向上	×1				2	
11	4 医療の質の向上	(1) 医療の安全の徹底	×1			3		
12		(2) 診療データ分析による医療の質と効率性の標準化	×1			3		
13		(3) チーム医療の充実	×1			3		
ウェイト考慮後の小項目評価点数				8	12		18	
ウェイト考慮後の評価5から3の構成比率 (%)				52.6%			-	-

ウ 小項目ごとの評価結果（レーダーチャート）



— 評価結果

(1) 項目別評価 (②第3 業務運営の改善及び効率化)

ア 評価結果 → B おおむね計画どおり進んでいる。

評価結果	S	A	B	C	D	E
	特筆すべき進捗状況にある。	計画どおり進んでいる。	おおむね計画どおり進んでいる。	やや遅れている。	遅れている。	重大な改善すべき事項がある。

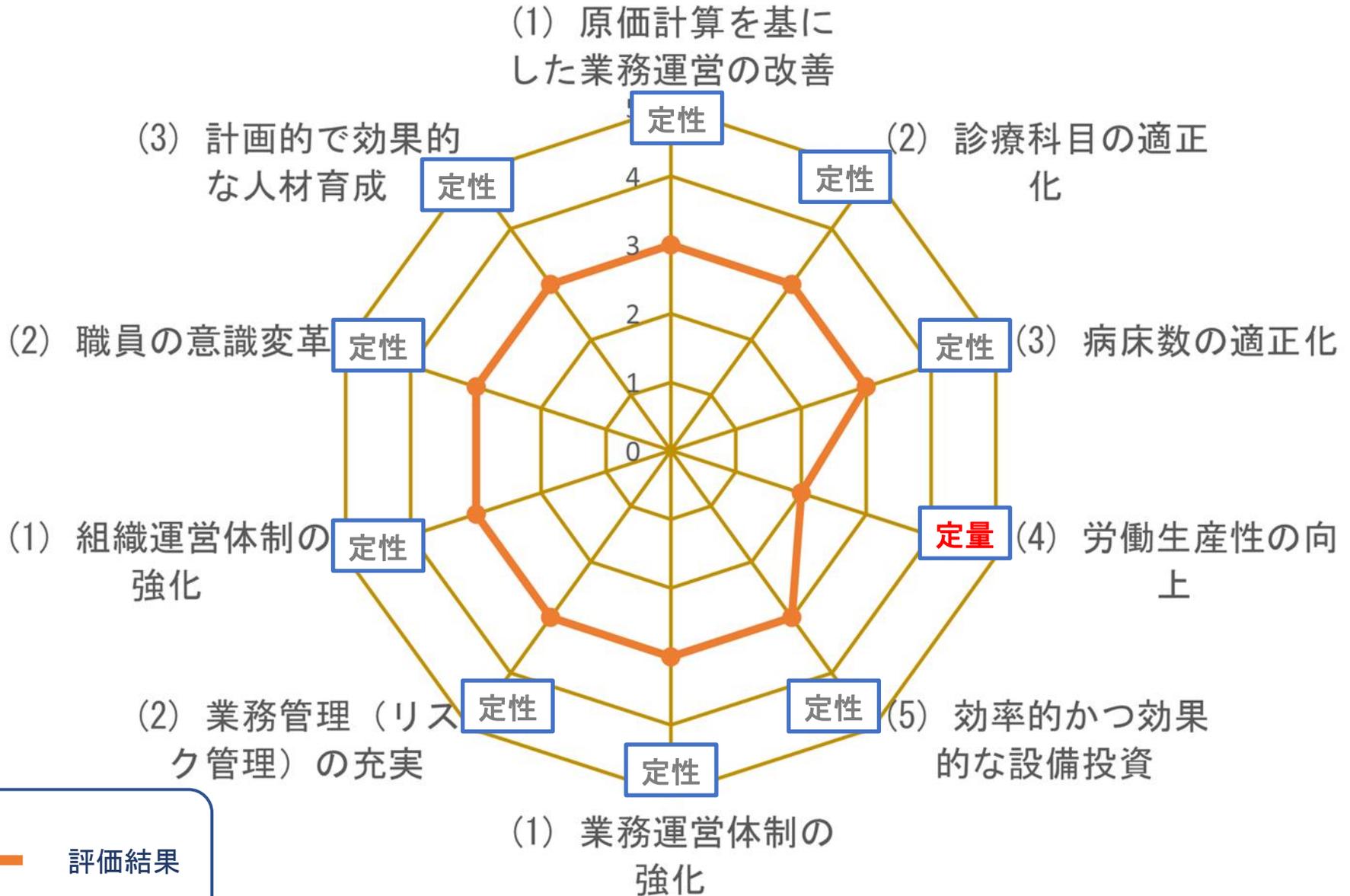
イ 判断理由 (主なもの)

○ 理事長及び院長が職員の意見を積極的に聴き、風通しの良い職場づくりに努めている点

△ 人材の確保 → 計画的な採用・育成に努めてほしい点

No.	項目	ウェイト	小項目評価数					
			評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	
1	1 経営の効率化	(1) 原価計算を基にした業務運営の改善	×1			3		
2		(2) 診療科目の適正化	×1			3		
3		(3) 病床数の適正化	×1			3		
4		(4) 労働生産性の向上	×2				4	
5		(5) 効率的かつ効果的な設備投資	×1			3		
6	2 経営管理機能の充実	(1) 業務運営体制の強化	×1			3		
7		(2) 業務管理 (リスク管理) の充実	×1			3		
8	3 組織運営体制の強化と 職員の意識変革	(1) 組織運営体制の強化	×1			3		
9		(2) 職員の意識変革	×1			3		
10		(3) 計画的で効果的な人材育成	×1			3		
ウェイト考慮後の小項目評価点数					27	4		
ウェイト考慮後の評価5から3の構成比率 (%)				87.1%		-	-	

ウ 小項目ごとの評価結果（レーダーチャート）



(1) 項目別評価 (③第4 財務内容の改善)

ア 評価結果 → C やや遅れている。

評価結果	S	A	B	C	D	E
	特筆すべき進捗状況にある。	計画どおり進んでいる。	おおむね計画どおり進んでいる。	やや遅れている。	遅れている。	重大な改善すべき事項がある。

イ 判断理由 (主なもの)

- ▲ 医業収支比率は未達だが、経常収支比率は目標値に達した点
- ▲ 新型コロナの影響で、患者数関連指標が芳しくなかった点
- 国県の補助金により資金繰りは安定した点

No.	項目	ウェイト	小項目評価数				
			評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
1	前文	×3			9		
2	1 収支バランスの適正化	(1) 収入の安定的確保及び収益の最適化	×1				2
3		(2) 支出及び費用の抑制	×1				2
4	2 運営費負担金	×1			3		
5	3 計画期間内の収支見通し	×1			3		
ウェイト考慮後の小項目評価点数					15	4	
ウェイト考慮後の評価5から3の構成比率 (%)					78.9%	-	-

ウ 小項目ごとの評価結果（レーダーチャート）

